



竹下 景子

入場無料 全席自由  
(要入場券)

2020年3月7日〔土〕

開場 13:30 開演 14:00 (終演予定 16:00)

会場 大船渡市民文化会館リアスホール  
大ホール 岩手県大船渡市盛町字下館下18-1 TEL.0192-26-4478

\*車椅子席をご希望の場合は実行委員会事務局(090-7663-4102)までお申し込み下さい。  
\*未就学児の入場はできません。\*応募による申込みが必要です。詳しくは裏面をご覧ください。

# かたりつぎ

## 朗読と音楽の集い

### 東日本の語りつぐ記憶

あれから9年が経とうとしています。  
私たちは、あの日のことを忘れずに、語りついでいきます。  
そして、備える心を、次世代につないでいきたいのです。

## 出演 (順不同)

- 〔朗読〕竹下 景子 (俳優)
- 〔講演〕角田 陽介 (前大船渡市副市長、復興庁統括官付参事官付企画官)
- 〔報告〕柴山 明寛 (東北大学災害科学国際研究所 准教授)
- 〔演奏〕上野 真理 (ヴァイオリン) / 高塚 美奈子 (ピアノ)
- 〔合唱〕アカペラ・ユニット XUXU × 大船渡市立大船渡中学校
- 〔背景画〕加川 広重 (巨大大水彩画家)



上野 真理



高塚 美奈子



XUXU

## 七人の記憶

- ・長栄丸、危機一髪 (岩手県大船渡市 木下孝之さん)
- ・リアスの丘の建設に向かって (岩手県大船渡市 大和田東江さん)
- ・昭和三陸地震津波からの教訓 (岩手県大船渡市 熊谷常孝さん)
- ・兄のかわりに昼屋を継ぐ (岩手県陸前高田市 菊池沙也加さん)
- ・津波に耐えた土蔵の主として (宮城県石巻市 本間英一さん)
- ・民謡の里から避難して (福島県南相馬市 沢田藍さん)
- ・いつか、女神米を (福島県川俣町 佐藤広一さん)

ライブ中継 13:55～ (当日のみ中継いたします)

中継URLは「みちのく震録伝HP」にて2020年3月1日にお知らせします。  
<http://www.shinrokuden.irides.tohoku.ac.jp>

かたりつぎ仙台実行委員会 事務局 (平日 9:00~17:00) TEL.090-7663-4102

## 会場までのアクセス

- 【鉄道】東北新幹線水沢江刺駅より車で70分
  - ・JR大船渡線盛駅より徒歩15分
  - ・三陸鉄道線盛駅より徒歩15分
- 【高速道路】水沢インターチェンジより車で90分

## 仙台からのおすすめアクセス

- 【高速バスと路線バス】乗り継ぎの場合 約4時間30分
- 高速バス:仙台発～盛駅着 (約4時間・片道料金2600円・要予約)
- 路線バス:盛駅前「碓石海岸行き」乗車、大船渡警察署前下車 (2駅)
- 徒歩:大船渡警察署前～リアスホール 400m (6分)

高速バスチケット予約のお問い合わせ先  
宮城交通(株)TEL. 022-261-5333 岩手県交通(株)TEL. 019-654-2141



協賛: 積水ハウス株式会社、凸版印刷株式会社、さいとう製菓株式会社、日本総合システム株式会社、株式会社キャッセン大船渡、大船渡温泉、大船渡プラザホテル、橋爪商事株式会社、大船渡レミコン株式会社、高田レミコン株式会社  
主催: 大船渡市、東北大学災害科学国際研究所、宮城学院女子大学、かたりつぎ仙台実行委員会、復興支援コンサート実行委員会(神戸)  
後援: 宮城県、岩手県、福島県、宮城県石巻市、岩手県陸前高田市、福島県川俣町、福島県南相馬市、大船渡市教育委員会、(公財)岩手県文化振興事業団、東海新報社、岩手日報社、河北新報社、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、NHK盛岡放送局、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ



# かたりつぎ ~朗読と音楽の集い~

## 竹下 景子

俳優、名古屋出身。東京女子大学卒業。NHK「中学生群像」出演を経て、1973年NHK銀河テレビ小説「波の塔」で本格デビュー。テレビ・映画・舞台への出演の他、2005年日本国際博覧会「愛・地球博」日本館総館長を務めるなど幅広く活動。1999年より14年間にわたり阪神淡路大震災復興支援のメモリアルコンサートに参加。2012年3月からは東北の「かたりつぎ 朗読と音楽の夕べ」に参加し、今年9回目となる。

## 角田 陽介

昭和48年生まれ。広島市出身。46歳。平成8年東京大学工学部都市工学科卒業。同年、建設省(現:国土交通省)入省。平成17年より、国土交通省九州地方整備局建設部都市・住宅整備課長。東日本大震災後は、宮城県亘理町・山元町を中心に、被災地の自治体の復興計画の策定等を支援した。平成24年4月より大船渡市副市長を務めた後、国土交通省都市局まちづくり推進課企画専門官、独立行政法人都市再生機構都市再生部事業戦略室特定戦略課長を経て、平成30年より復興庁統括官付参事官付企画官。



## 柴山 明寛

東北大学災害科学国際研究所准教授、博士(建築学)、静岡県出身。2006年工学院大学院建築学専攻博士課程修了。2008年東北大学災害制御研究センター助教を経て、2012年から東北大学災害科学国際研究所災害アーカイブ研究分野准教授。地震災害を建築学、地震工学地域防災などの様々な視点から防災・減災方法を研究。東日本大震災以降、震災アーカイブプロジェクト「みちのく記録伝」に従事し、震災復旧復興支援、南海トラフの防災対策、災害記録・記憶の伝承に繋げる研究を行っている。



## 上野 真理 (ヴァイオリン)

桐朋学園大学卒業。読売新人演奏会に出演。明治安田生命クオリティオブライフ文化財団の奨学生として、ウィーン国立音楽大学で研鑽を積む。江藤俊哉ヴァイオリンコンクール第1位入賞、神奈川フィルハーモニー管弦楽団とコンチェルトを協演。東京文化会館新進演奏家デビューコンサート、宮崎国際音楽祭等に出演。オーストリア国際室内楽音楽祭にて優秀賞受賞。地域創造「公共ホール音楽活性化事業」アーティストとして、各地の演奏会に出演している。

## 高塚 美奈子 (ピアノ)

宮城学院女子大学音楽科卒業、同研究科修了。野沢真弓、林秀光の各氏に師事。ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学ハンス・ライグラフ教授、パリ国立高等音楽院・上田晴子教授に薫陶を受ける。自身のプロデュースによる室内楽シリーズ「メチエ」を主宰。プロオーケストラ首席奏者らによるトランペットアンサンブルThe Mostとの共演や、内モンゴル歌手イリナ・ボルジンとの共演など、アンサンブルにおいて定評がある。東日本大震災復興「かたりつぎ」にて俳優・竹下景子と共演。そのほか音楽劇「光の多面体」、「恋歌舞SO-MON」などの音楽監修、コンクールの審査員など多方面で活躍。現在、東北文化学園大学特任教授、宮城学院女子大学など非常勤講師、日本演奏連盟会員、PTNA正会員。

## アカペラ・ユニット XUXU (ジュジュ)

「声をはわせることは心をはわせること」をモットーに、オリジナルアレンジとXUXU語で、声の魅力や可能性を伝える女性3名のアカペラユニット。国立音楽大学出身。2009年より「さんりく大船渡・ふるさと大使」をつとめる。全国各地でのコンサート活動やTV出演の他、CMソングや当地ソングを提供するなど、地域応援にも力を入れる。全国権サミットにおいては、東日本大震災で開催が中止された大船渡大会の思いを繋ぎ、2012年より毎年各大会で「Camellia~櫛のうた~」を披露。また「XUXUと一緒に大船渡を応援すべしプロジェクト」を主催、現在までで延べ700名以上のメンバーと共に、東京から大船渡に歌声のエールを送る活動を続けている。

## 大船渡市立大船渡中学校

「黒潮魂〜明るく、賢く、逞しく〜」を校訓に掲げる。大船渡市の中心部に位置する全校生徒数157名の中学校である。一昨年度、校庭から仮設住宅が撤去され、昨年、震災後8年ぶりに校庭での大運動会を開催することができた。学校の特色の1つに「郷土芸能伝承活動」がある。毎年、全校生徒から郷土芸能活動を希望する生徒を募り、地域郷土芸能保存会の方々による厳しい指導を受け、4つの郷土芸能を文化祭で披露している。もう1つの特色は「心に響く合唱活動」である。生徒会の合唱委員会を中心とした全校合唱づくり、月1回の合唱朝会、文化祭に向けた学年・学級合唱づくり等を通して、様々な機会に発表を行っている。他にも挨拶、清掃、応援といった活動にも、気持ちを込めて取り組んでいる。



## 背景画像 加川 広重

画家。1976年宮城県蔵王町生まれ。2001年武蔵野美術大学油絵科卒業。2003年より「巨大水彩画」をせんだいメディアテークなどで計22回開催。主な展示に、「加川広重巨大絵画が繋ぐ東北と神戸」(2015/2014/2013 KIITO神戸市)、「11/3/11 FUKUSHIMA」(2016 プルターニュー・オ・ベルシュ/フランス)、第5回1,000人のチェロ・コンサート(2015 ゼビオアリーナ仙台)、第3回国連防災世界会議直前イベント「ひとのちから」(2015 せんだいメディアテーク)など。2015年2月、テレビ朝日「報道ステーション」にて作品を紹介。平成24年度宮城県芸術選奨新人賞。東日本大震災をテーマにした巨大画を作り続けている。



司会 飯田 利加

舞台監督 白津 守康

演出 志賀野 桂一

## 証言編集 水月りの (詩人)

仙台市生まれ。慶応大学法学部卒。詩人、俳人。宮城県芸術協会会員、小籠座同人。2003年、句集「人魚姫のトウシューズ」で加美俳句スウェーデン賞受賞。2011年、詩「虹の轍」「死神の涙」で宮城県芸術協会文芸賞受賞。大沼英樹氏とのコラボレーションによるPOEM&PHOTOが、雑誌「りらく」に190回を超えて掲載されている。

## 応募方法 | 締切 / 2020年1月25日(土)必着

### 往復はがきにて応募ください

往復はがきにてご応募下さい。右記のように必要情報を記載の上、お申し込み下さい。記載間違いにご注意下さい。1枚で2名様までお申し込みができます。先着順に受け付けます。※抽選ではありませんので重複しての申込みはお断りします。

●結果通知:2月上旬 返信葉書にて通知します。※先着順で定員になり次第締め切ります

切手 63

— 往信 —  
〒980-8799

仙台中央郵便局留  
「かたりつぎ」係

この欄は  
記入不要です。

往信(おもて)

返信(うら)

切手 63

— 返信 —  
〒□□□-□□□□

あなたのご住所

あなたのお名前様

①「かたりつぎ」係  
希望人数 1人  
又は2人

②ご住所

③お名前

※2名で応募の場合は  
2名のお名前を  
お書きください。

④お電話番号

返信(おもて)

往信(うら)

※古いはがきをご利用の方は料金不足にご注意下さい。料金不足の場合は受け付けられません。